

科学研究費補助金研究成果報告会【(基盤研究(A) 研究課題番号 21H04369 研究代表者 奥山誠義「材料科学および工芸技術からみた古墳出土金工品の総合的研究－藤ノ木古墳を中心に－」】
令和7年度秋季特別展「きらびやかに送る－国宝・藤ノ木古墳出土品修理事業成果展1－」関連講演会

保存科学が拓く文化遺産の世界

－藤ノ木古墳、沖ノ島祭祀遺跡、そして世界遺産－

10:00 ～ 10:10 開会挨拶

橿原考古学研究所 保存科学センター長 水野 敏典

10:10 ～ 10:55 趣旨説明・古墳出土金工品と保存科学

橿原考古学研究所 総括研究員

奥山 誠義

10:55 ～ 11:40 古墳出土金工品の材質分析

橿原考古学研究所 主任研究員

河崎 衣美

11:40 ～ 13:00 休 憩

13:00 ～ 13:45 九州・福岡の保存科学－船原古墳の科学的調査を事例に－

九州歴史資料館 研究員

加藤 和歳

13:45 ～ 14:30 藤ノ木古墳出土刀剣と保存科学

奈良大学文学部 教授

豊島 直博

14:30 ～ 15:15 馬具研究と保存科学

－沖ノ島祭祀遺跡出土馬具の調査成果が語るもの－

京都府立大学 准教授

諫早 直人

15:15 ～ 15:30 休 憩

15:30 ～ 16:15 世界遺産とこれからの保存科学

筑波大学 教授

松井 敏也

16:15 ～ 16:20 閉会挨拶

日 程：令和7年11月29日（土）

会 場：奈良県立橿原考古学研究所 講堂

主 催：奈良県立橿原考古学研究所附属博物館

表紙：国宝 福岡県宗像大社沖津宮祭祀遺跡出土品

/ 心葉形杏葉（三次元画像、写真、透過X線写真）

/ 宗像大社所蔵

裏表紙：国宝 福岡県宗像大社沖津宮祭祀遺跡出土品

/ 棘葉形杏葉（三次元画像、写真）/ 宗像大社所蔵

本シンポジウムは、科研費21H04369の研究成果の一部である。

基盤研究(A) 研究課題番号 21H04369

研究代表者 奥山誠義

課題名 材料科学および工芸技術からみた古墳出土金工品の総合的研究－藤ノ木古墳を中心に－

研究期間 2021～2025年度

【おしらせ】当研究所講堂の空調が故障中です。ご来場の際は温かい服装でお越し下さい。